第７回（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会会議録

日　時　平成３１年２月１９日（火）午後３時００分～午後４時３０分
場　所　黒部市民会館　１０１会議室

・・

会議次第

１　開　　会
２　報告事項
（１）第６回委員会会議録について
（２）基本設計プロポーザル概要

３　協議事項
（１）管理運営計画について（確認事項）
・前回提案事項の確認

第６章	（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画 事業広報	１．広報宣伝計画の基本方針 ２．広報計画
第７章	（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画 事業運営組織	１．組織運営の基本的な考え方 ２．各部門の検討・管理運営体系図・事務所・連絡会議 ３．組織人員計画、事務分掌、人材の確保 ４．セキュリティー面の管理者（開館・閉館）の設定 ５．施設予約方法の検討
第８章	（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画 事業収支	１．収支の基本方針 ２．収支試算
第９章	（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画 開業準備	１．開業準備業務の整理・スケジュール ２．愛称・ロゴマークの取り扱い ３．開館記念事業 ４．施設設置条例・規則の制定 ５．引越計画・引越時の移行体制

（３）その他
①策定委員会スケジュールについて

４　閉　　会

・・

本日の出席委員　１４名

藤　田　公仁子（富山大学地域連携推進機構）
堀　内　國　春（富山県図書館協会）
上　田　洋　一（黒部市図書を愛する会）
橋　爪　みち子（黒部市合同読書会）
石　川　幹　夫（黒部市公民館連絡協議会）
長谷川　悦　子（子育て支援活動実践者）
河　田　　稔（黒部市自治振興会連絡協議会）
中　野　高　嗣（黒部商工会議所）
牧　野　和　子（くろべ女性団体連絡協議会）
菅　野　智　美（黒部ワンコインプロジェクト実行委員会）
中　尾　晃　司（公募委員）
新　酒　さおり（公募委員）
国　香　正　稔（黒部市教育長）
能　澤　雄　二（黒部市副市長）

・・

本日の欠席委員（０名）

・・

事務局

【教育委員会事務局】
長　田　行　正（黒部市教育委員会事務局教育部長）
川　端　左起子（黒部市立図書館長）
中　嶋　ひとみ（黒部市立図書館主幹・館長補佐）
輿　水　一　紀（黒部市教育委員会事務局生涯学習課主幹・生涯学習施設建設推進班長補佐）
宮　崎　千　夏（黒部市生涯学習施設建設推進班係長）
内　山　香　織（黒部市立図書館主査）
【関係部局】
魚　谷　八寿裕（黒部市総務課長）
廣　木　敏　之（都市政策課長）
藤　田　信　幸（黒部市こども支援課長）
高　野　正　規（黒部市商工観光課長補佐）

【管理運営計画策定支援業務委託業者】
岡　本　　真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社）
宮　田　和　樹（アカデミック・リソース・ガイド株式会社）

・・

開　　会

○事務局　ご案内の時間となりましたので、ただいまから「第７回（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会」を開会させていただきます。

まず、会議の開催にあたり、（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会委員長よりご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

・・

委員長挨拶

○委員長　今日は足元の悪いなか、また寒いなかご参加いただき、ありがとうございました。第７回目になりました。最初の第１回目もこちらの会場だったと思います。そのときはどうなることかと委員のみなさんも思われていたと思います。私が一番、不安だったと思っていたかもしれませんが、いよいよ本日を迎えることができました。本日が実質的な最終回となり、以降、パブリックコメントと続きますので、言い残したことや後悔がないよう、思いの丈を語ってもらえればと思います。限られた時間ではありますが、委員のみなさんにはご協力をお願いいたします。

・・

報告事項

○事務局　どうもありがとうございました。それでは本日の議事に入りたいと思います。委員長に議事の進行をお願いします。

○委員長　それでは報告事項について、事務局から報告をお願いします。

○事務局　それでは、資料１をご覧ください。平成30年12月4日に開催されました第6回策定委員会会議録です。内容につきまして、委員の皆様には事前に、ご確認をいただいております。

前回委員会では、１２名の委員が出席され、管理運営計画（素案）の第４章　事業計画２物販の実施の可能性～９非常時の対応および第５章事業計画U-１８までの確認を行ったのち、第６章事業広報～第９章開業準備について協議をしていただきました。策定委員会で委員の皆様からいただきました、ご意見を踏まえた修正等につきましては、後ほど資料３－２にてご説明いたします。

続いて、資料２をご覧ください。（仮称）くろべ市民交流センター整備事業設計プロポーザル審査委員会の設置についてです。

１、委員会設置の目的でありますが、施設の管理運営計画については、委員の皆様には、本日７回目となります策定委員会におきまして、ご議論いただき、３月末を目途として計画の取りまとめを行うこととしております。（仮称）くろべ市民交流センター整備事業の基本設計につきましては、より優れた設計者を選定する観点からプロポーザル方式を採用することとし、プロポーザル審査委員会を設置し設計者を選定するものです。

２、審査委員会につきましては、平成３０年１２月２２日を設置日とし、同日第１回審査委員会を開催しております。主な協議内容は記載のとおりです。審査委員会委員につきましては、記載のとおり7名の委員で構成され、委員長は互選により中井委員、副委員長は委員長の指名により伊東委員が選出されました。

３、今後のスケジュールにつきましては、技術提案書の提出期限は、明日、２月２０日

までとなっており、第２回審査委員会を２月２８日、第３回審査委員会を３月１０日に開催し、結果の公表を３月中旬の予定としております。
資料１および２について、説明は以上です。
○委員長　いまの報告にもありましたとおり、基本設計のプロポーザルがはじまりました。こちらの報告について、なにかご意見はありますでしょうか？
○Ａ委員　設計者選定についての要望です。有名な設計者に頼むと市民の意見を聞いてもらえないという話を聞いています。選定にあたっては、なるべく市が汲み取った市民の要望を聞いてくれる設計者をぜひ選定していただきたいという要望です。
○事務局　ありがとうございます。これまで議論してきたものを条件とし与えていますので、当然、守っていただけるものと思っています。本委員会の意見を踏まえてもらうことも伝えている。審査はいま進んでおります。そのような状況で、３月に向けていまは選定を進めている状況です。
○委員長　私から見ても今回は条件が多いプロポーザルになっていると思います。こちらの希望をいろいろと加えてもらったうえで進めてもらっているということなので、事務局のお話を信頼し、また期待して進めてもらいたいと思っています。
Ａ委員、よろしいでしょうか？
○Ａ委員　（同意）

【追加の発言がないことを確認】

・・・

してもらう。
　そして、その若い躍動感あるエネルギーをもって、黒部のまち全体に・高齢者から児童までの全世代に受益が及ぶ、このような本質的なものが、黒部の皆様の心の根底にあるのではないかと感じております。このような市民の皆様方の想いを踏まえながら、１２月からの２ヶ月以上の間､関係６課による庁内ワーキングや庁内検討会を重ねてまいりました。委員長にもご意見をいただきましたが、市役所内の関係部署で検討した結果で、現時点において表現できるものはできるだけ入れ込んだ形にしたのが、今お示ししております資料３－２でありまして、本日ご了解いただければ、パブリックコメントに移らせていただきたいと考えております。
　具体的には、この後、主な変更箇所について説明させていただきますが、主に４章については、２か月間の市役所内で検討した結果、あくまでも想定ということでありますが、現時点でお示しできる休業日や営業時間を記載し、一部、書き振り等も修正をしております。
　また、６章から９章については、前回の策定員会の議論を踏まえて、一部修正したものとなっております。なお、事前の資料配布時において、複数の委員よりご指摘いただいた、本文中のカタカナ文字、「サードプレイス」等については、本文欄外に注釈を入れて、解説を加え、市民の皆様方に主旨が伝わるよう、対応していきたいと考えております。
　それでは、資料３－２を使いまして、確認していただくため、変更・修正箇所の主な点のみ説明させていただきます。
○事務局　それでは続きまして資料３-２を用いまして、説明させていただきます。
　青字部分の修正については、前回までに確認いただいた部分を、修正するもの、赤字部分の修正については、前回の委員会での意見を踏まえ、修正確認するものとなります。
　青字部分の修正は第４章、第５章で主に２種類で、①営業時間、および営業日についての修正　②文章の整え、書きぶりによる修正となります。
　P. 13 第４章①図書館機能についてです。以前は『従前の開館時間で、全館統一の休館日は開業までに検討する』といった内容であったものを、図書館機能については　営業時間は、祝日を含む日曜日～木曜日までを９：00-19：00、金曜日と土曜日９：00-20：00、休館日については､図書館フロアとなる３､４階について火曜日を休館日と想定したうえで、開業準備を行っていくという記載に変更しております。
　営業時間については、平日の遅い時間の貸出利用者数が少ないことから１時間短くするが、学習室利用等については、後程別の部分で出てきますが、１、２階部分で午後１０時まで利用できるように検討いたします。
　また、ウイークエンドである金曜日については現在も遅い時間帯に利用が比較的多いことから、土曜日も夜８時まで営業することで、ウイークエンドの夜のニーズに対応していこうとするものです。
　P.14～17 にいくつかある四角の中、検討事項の青字部分については、策定委員会での議論を踏まえ表記の仕方も含め、より理解しやすいよう手を加えてものです。追加された部分についても、今までの議論で出ている話であり、記載内容を改めて変えるものではありません。
　P.17 ビジネス支援の部分に『進学』と追加記載しております。後ほどビジネス支援機能でもお話しますが、図書館で行うビジネス支援として学生への支援に力を入れるということであります。
　P.20 の削除部分は、営業日、営業時間の記載についてです。
P.21 の削除部分については、確認不足で A の機能に全く同じ文章が載っており、B から記

載を削除しました。

P.22　子育て支援機能についてです。今まで土日が休みであったものを土曜日営業すると拡充の予定でお話ししておりましたが、仮に図書館が火曜日、子育て支援センターが日曜日休業とすると、機能融合と言いながら１週間のうち、２日間、３階フロアが一部営業していない風景を利用者に見せることになること、また、利用者の動線や安全管理面を考えた場合、３階フロアは同時に営業、少なくとも面積の多い図書館が休業の場合は３階フロアを閉鎖した方がよいのではないか、との考えから、子育て支援センターの休業日を火曜日と想定し、開業準備を行うと訂正記載しております。当然、今までは平日すべて営業していましたので、平日が休みとなった場合、では利用者はどうなるのかといった問題もあるかと思います。現在１，２階は週休日をない状態で検討しておりますので、フリースペースとしては１，２階を利用していただくことも検討するとともに、子育てに特化した利用としては、今後の検討でもありますが、宇奈月子育て支援センターの利用も検討していきたいと考えております。

P.25 生涯学習機能、P27 市民活動支援機能について貸館については、現行の市民会館どおり、年末年始の休業を想定し、開業準備を進めるとの変更記載しております。

P.29 ビジネス支援機能については、『進学セミナー』との記載を追加しております。今までの議論でも図書館を中心に行うビジネス支援としては学生を対象としてものについて考えておりましたが、ここに力を入れていくということで出した形です。

第５章の U-18 の高校生との記載を『学生』に変更しましたが、高校生に限らず、学生たちへのビジネス支援に力を入れていくという表現であります。

ただ、当然学生に限るわけではなく、学生向けの資料や図書は初心者向けといった意味合いもあると思いますので、ビジネス支援の入門編、取っ掛かりといった役割を果たしたいと考えております。

以前の議論で全館統一の休館日については開業までに検討するといったものを具体化させた理由としましては、この管理運営計画答申後は基本設計へと進んでいくわけですが、当然設計ではフロア配置、利用者動線等について検討していくこととなりますが、ある程度のことを想定しないと、検討もできません。そこで、１、２階は年末年始、３、４階は火曜日といった休業日を想定し開業準備を進めるといった記載を管理運営計画に記載したわけですが、当然それ以外の問題等も今後発生する可能性もあります。

今後はこの提案でよければ、準備を進めていくわけですが、当然これが最終決定ではなく、今後いろんな検討を重ねていくことになります。

赤字部分の修正は第６章～第９章、前回策定員会での提案部分となります。

P45 第６章です。「１認知度の向上」を委員長の「ただの認知度ではなくやはり、機能融合施設としての認知度の向上」が必要であるとのご指摘から赤字部分を追加記載いたしました。

「２アイデンティティの形成」については、わかりにくく、この部分がなくても内容として十分わかることから赤字部分を削除いたしました。

「３」については今までの議論を踏まえ、一方通行ではない、双方向でのコミュニケーションが必要であること、また文章中に「地域文化の情報発信」との文言を追加。

P.47 第７章です。委員長から、この第７章事業運営組織の部分に『サードプレイス』である根拠をきちんと明記する必要があるのではないか、とのご指摘もあり、今まで議論してきた管理運営計画のメインコンセプトについてあらためて７章の前段に追加記載いたしました。

また、『７－１組織運営の基本的な考え方』『７－２各部門の検討・管理運営体系図・事

務所・連絡会議』にも今までの議論を踏まえた赤字部分を追加記載することで、今後具体的に準備していくことになる組織や運営体系等についてもサードプレイスたるこの策定委員会での議論を踏まえることをわかるようにしております。

なお、７章～９章には前回提案の際には「庁内検討を進める」という記載が複数個所ありましたが、Ｄ委員から「わかりにくい」「委員会での議論がないがしろになる可能性があるのではないか」とのご指摘を受け、『庁内検討』という言葉を「検討」もしくは『開業準備』に変更しています。

大まかに分けて、今後改めて庁内を含め、こまかな検討が必要な部分については「庁内」を取り「検討する」に、策定委員会での議論を踏まえ基本設計等に反映し、今後準備を進めていくような部分については『開業準備』と言葉を置き換え、『庁内検討』という言葉をなくしたものです。

今後のすべての検討が策定委員会での議論を踏まえて行うものであり誤解を招きかねない表現を変えた、ということであります。

P.48～53 に出てくる『庁内検討』を『検討』もしくは『開業準備』と赤字修正しております。

最後に、P.53　９章の部分も委員のご指摘によりすべての方にわかりやすい文章となるよう内容を変えない上で赤字部分を削除しております。変更点については以上です。

なお、今回の確認部分を踏まえ、冊子がたちに整え、パブリックコメント、答申となっていくわけですが、今回の資料３－２についてまだ文章の乱れ等が一部残っており、今後整えていく予定です。

○委員長　ありがとうございました。まず資料３－２についてですが朱書きは前回の議論を踏まえて修正されたものとの説明を受けました。青字については事務局で検討した結果、一部修正したものとなるとの説明を受けました。この素案がパブリックコメントに出されるものになりますので、ご意見をよろしくお願いいたします。

○Ｃ副委員長　事務局でのとりまとめで大変ご苦労されたと思います。カタカナ表記については、日本語を大事にする姿勢を大切にしてほしいと思います。図書館を中核施設にするということですから、日本語を大事にしてほしい。たとえば、P. 41 の「シビックプライド」が市民のうちどれだけが人がわかるのかは、事務局の意向はわかりますが、やはり疑問が残ります。複合施設ということで機能融合について述べられていますが、子育て支援については、機能についてはわかりますが、昨今の児童虐待のニュースも踏まえて、子どもを大切にするイメージを打ち出してほしいと思っています。特に、「幼児の豊かな感性を育む」という文言が、どこかにほしいと思います。

既存施設の機能の引き継ぎでは、働く婦人の家に黒部市芸術文化協会（芸文協）の事務局があります。やはり黒部市の 36 団体を束ねる団体ですので、それがどのように交流センターに位置づけていくのか、関係者が心配しています。

○委員長　事務局から、いかがでしょうか？

○事務局　黒部市芸術文化協会（芸文協）につきましては 36 団体の事務局であるので相応に考えたいと考えております。各サークルの事務局については対応は難しいと述べてきていますが、とりまとめ団体については事務局で検討したいと思っております。

○事務局　カタカナのシビックプライドの件につきましては、検討を進めておりますが、ひっかかりのあるものについては注釈を入れるなどして、全体の体裁整える中で対応していきたいと考えております。

○委員長　子育てについてのご発言については、いかがでしょうか？

○事務局　子どもの成長に読書は大切な役割を果たしていると考えており、現在、第 2 次

の子ども読書推進計画の策定も進めております。「子どもの豊かな感性を育む」というのは大変よい言葉をいただいたと思いますので、資料収集方針にも盛り込んで反映していけるよう努めてまいります。

○委員長　機能融合ということがあるので、子どもの利用が目に見えて増えてくると思います。図書館サイドも、子ども向けの独自の事業として、読書の推進やブックスタートなど取り組んでいかざるを得ないと思いますし、積極的に進めてほしいと思いますので、委員会の意見として、記録にとどめていただければと思いますが、よろしいでしょうか？

○副委員長　P.4 にあるのは私もわかっているのですが、もっと基本的なところで謳ってほしいということでした。

○委員長　もうひと押ししてほしいということでしょうか？

○副委員長　これは個別の機能という扱いという印象なので、そうではなくもっと基本のところで謳ってほしいと考えております。

○事務局　P.4 は融合施設のなかで子育てを謳っているが、もう少しわかりやすくということだと受け止めました。P. 13 の図書館機能から始まりまして、P.19 の下のほうでも少し書いてもいますが、わかりにくいということですので、事務局で見直したいと考えています。

○委員長　やはり施設の機能を活かしてということが大切かとおもいますので、その文言も入れられるか検討していただければと思います。

よろしいでしょうか、Ｃ委員さん？

○Ｃ副委員長　（同意）

○Ｋ委員　P. 13 に図書館サービスの説明がありますが、私の希望であり提案ですが、図書館サービスというのは資料の整理と提供を最も重要な社会的な任務としており、そのサービスのよしあしを決めるのは職員で、社会の期待と利用者の要求を基本的な拠り所として職務を遂行するため、資料の保存・収集・提供に務めると考えています。資料の収集方針についてはP. 16 でもふれていますが、その公開という点では不十分でないかと思います。

みなさんにもご理解いただきたいのは､図書館サービスの記録は利用者登録､貸出記録､レファレンスについては、個人の内面に扱うサービスのため、プライバシーの徹底的な配慮が必要だと考えています。自動貸出機の導入でプライバシーを保護しますと書いてありますが、これが延滞のときや予約貸出の際には守られるのか。たとえば「離婚の仕方」や「嫁姑問題の解決方法」といったタイトルの本や、「完全自殺マニュアル」というかつてのベストセラーを高校生が予約した場合はどうか。自宅にこういった本が入ったと連絡をした場合にプライバシーの問題は配慮されるのか。プライバシーは一般の利用者だけではなく家庭のなかにもあると考えると対応が違ってくるのではないか。

P.14 の下に自動貸出機を設置し利用者のプライバシーを守ると書いてあるが､それだけではなく、犯罪捜査で利用者の利用記録の提出を求められた場合にどうするか。そこまで考えたときに、現在の書き方で十分なのかどうか。

図書館がプライバシーをどう扱うかは、サービスのところにまとめて書いてもらえれば、他の記述は省いてもよいので、構成を見直してもらいたいと思っております。

○委員長　プライバシーについて書き方の問題提起をいただいたと思います。事務局のほうではいかがでしょうか。

○事務局　ご意見いただきありがとうございました。プライバシーは大変重要なものと考えていますので、検討できればと思います。

○Ｋ委員　プライバシーについて細かいことには踏み込みませんので、図書館の独特の面

に関し、最初のサービスの記述のところに、基本的なことだけひとこと書いてほしい。たとえば、「利用者の秘密を守ります」とか「利用者を差別しません」といったことです。また、資料を扱う職員も正規の職員や司書資格の有無など、いろいろあるので、その点についてもひとこと言及してほしい。職員は選書については個人的な好みや嗜好によって偏りがないようにするといったことに気を配る必要もあります。

○委員長　ご意見を踏まえて文章の表現を検討していただくということでよいでしょうか？

○Ｋ委員　（同意）

○事務局　（同意）

○委員長　他にございますでしょうか？

○Ａ委員　確認と要望ですが、3、4 階は火曜日は休みということでしたが、日曜日は図書館はやっているが支援センターは休みということですよね？

○事務局　現時点の想定では、今おっしゃっていただいた通りです。日曜日は子育て支援センターだけ閉まって、図書館は開いているという状態です。

○Ａ委員　できれば育児休業がとれない、お父さん、お母さんのため対応を考えてもらいたいと思っている。できれば土曜日と日曜日の両日とも子育ち支援センターをオープンしてほしいと要望します。

○委員長　現在、事務局としてご回答いただけるものはありますでしょうか？

○事務局　現在の想定として書かせてもらっています。将来については、ここでは結論を出せませんが、今後のニーズにあわせて見直していきたい。開業時については、まずは、土曜日開館からで提案させてもらっています。その後は社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえて見直していきたいと思います。

○委員長　よろしいでしょうか？

○Ａ委員　（同意）

○委員長　他はいかがでしょうか？

○Ｄ副委員長　検討した内容にいますぐに回答できないというのは理解しましたが、火曜日、日曜日を休みにすることになった経緯をまず委員に聞かせてほしい。

○委員長　それではご検討された際の根拠などの説明をお願いいたします。

○事務局　経緯としては、開業に向けて休館日を決めたのが 12 月の状況でした。既存の機能については現在の利用者も大切にしないといけないという前提もあります。現在は子育てについては月～金のニーズが多いことを把握しました。特に月曜日が多い。また、土日は家庭の日として､家で親子がふれあってほしいというスタンスで現在はやっています。図書館は月曜が休館日で土日は少し開館時間が短いというところでやってきました。別々の組織でやってきたなかで、できるところからの議論ではありましたが、すり合わせをおこなった、ということです。

まず図書館が月曜休館は必須かを検討しました。子育て支援センターは土日の需要を検討し、土曜日のオープンから踏み出すことにしました。

機能融合を謳うなかで、休館がバラバラでは、融合を実現できないとう議論も行いました。

施設管理としては、1 ～2 階は年中無休でやっているなかで、3 ～4 階はフロア単位で休館日を設ける必要があり、火曜日を中心に休業日設定した経緯となっています。庁内検討の議論ですが、宇奈月でも子育て支援センターがあり、そこが全市をカバーできれば、休むのは日曜日だけになるということも想定しています。

段階を踏んで議論を進めた結果、想定ではありますが、議論の経過としては、ここまで

は想定していいのではないかという議論をしました。
○Ｄ副委員長　黒部市民交流センターは、子どもの未来、市民の幸せ、サードプレイスを謳っているなかで、課の歩み寄りは評価できるが、その趣旨を市の他の職員の方々にもしかりとイメージしてほしいと思っています。縦割り組織と言われるが、そこを乗り越える取り組みをいろいろなアイデアを出しながら取り組んでいることも、しっかり伝えてほしい。
○Ｇ委員　読書会の話です。開業準備として子どもたちにどんな本を選ぶかですが、世界の名作があらすじでわかる本を入れてほしいと思っています。大人になって読み直せるし、就活でも役に立つということです。日本の名作もあらすじでわかるとよいと思います。また、読書会の立場からは、会議室やホールの使用料を無料にしてほしいと思っていました。優遇されることで、図書館も核として貢献できます。図書館のサービス提供にあたっても、核になれると考えています。黒部の地域史もつくっていきたい。文学の黒部市としてのイメージにとっては、今回の堀内様の受勲もあり、読書会としてはうれしく思っております。
○委員長　これまでの活動をどう継承していくかも大切だと思っています。次の世代によい施設が受け継がれるという点でも、非常によいご意見をいただいたと思います。
　他にはご意見はございますでしょうか？
○Ｂ委員　図書館の計画が徐々に仕上がりつつあるなかで、今の図書館は 1～5 段階で、どの段階にあるのか？　何か県に誇れる特別なものがあるのかお聞きしたいです。
○委員長　事務局からの回答をお願いします。
○事務局　まずハード面についてですが、黒部市では図書館部分の面積を 3,300 平米を予定しています。県内では富山市立図書館本館の 4,621 平米、高岡市立中央の 3,385 平米につづく、トップ 3 の規模となります。今計画されている新砺波図書館が 3,200 平米ですので、そちらを含めてもトップ 3 に相当するレベルと思っております。IC タグについては検討中ですが、県内で、高岡市、立山町、富山市で実際に導入されています。新小矢部図書館、新砺波図書館では IC タグの導入が検討されていますが、呉東地区ではそのような図書館や計画はありませんので、導入されれば黒部市が最初となる予定です。
○Ｂ委員　よそにも誇れるものがほしいと思っております。ありがとうございました。
○委員長　施設としてはよいものになりそうだが、黒部市にはもっと宝を持っていることもお伝えしたいと私は思います。それは司書の方々の専門性と力量です。私の個人的な意見ですが、この点でもとても期待したいと思います。他の方はどうですか？　本当に最後ですので。
○Ｋ委員　先ほどは事務局を困らせるようなことを述べて申し訳ございません。
図書館は資料の収集と廃棄にあたって、自分の好みにあったものを購入するとか、あわない本をわざと除籍するなど、差別をしないでほしい。利用者に対しても、忙しくて特定の利用者への対応が疎かになることがないようにしてほしい。先ほどの私の意見を、サービスという言葉を使っているところに、ぜひ、入れてほしいと思っております。
○委員長　図書館法と社会教育法に則ってもらえれば、そうした問題は正しく対処されると信じております。今のご発言については記録にしっかりと留めさせていただくということでよろしいでしょうか？
○Ｋ委員　承知しました。
○委員長　ありがとうございます。本当にこれで最後となります。まだ、ご発言いただいていない方もいらっしゃると思いますが、その他の方はいかがでしょうか？
○Ｆ委員　これからのことも含めて申し上げると、機能融合としていろんな施設が入るが、箱物としてはうまくいくという気がしますが、どう運営していくかはすべて人の問題にな

ってくると思います。そのなかで、いろいろな人の活用については、市民参加については、このセンターを盛り上げていくという観点からもしっかりとやっていただきたい。サポーターやボランティアをどう関わらせていくかは、つけ足しではなく、積極的に活用していく仕組みを考えていただきたい。郷土資料の重要性は触れられているが、その収集については、これまでその分野に携わってこられた、精通されている方が市民のなかにも詳しい方がいるので、そう言った方々の想いや意見を取り入れてもらいたいと考えています。

○委員長　これにつきましては、事務局のほうではいかがでしょうか？

○事務局　ご意見をいただき、ありがとうございました。この管理運営計画のなかで、能力ある市民の活用は重要な点であります。現在、司書の配置人数や専門性についてはわかっていません。いませんが、どんな司書でもすべての分野に精通しているわけではございませんので、郷土資料については精通されている市民の方にご協力が得られるようにしていきたいということで、ボランティアやサポーターという言葉を使っております。

○委員長　ソーシャルキャピタルとして地域の人材の活用は黒部市の方針として進んでいると思います。新しい施設でも同様に進められると思っています。この面についても前向きに進めてほしいと、個人的にも思っています。

○Ｋ委員　最後に一言だけ伝えさせていただきます。建物は立派だけど、図書館の資料はがっかりだね、と言われないように、頑張っていただきたい。

○委員長　図書館に限らず、地域の人たちのみんなの応援でつくっていくことになると思います。Ｋ委員にも先頭を切って、ご協力していただきたいと思っております。

○Ｃ副委員長　先ほどの補足ですが、何を特色とするのか明確に打ち出してほしい。サードプレイスを打ち出すのであれば、もっと最初の基本コンセプトの段階で書いておくべきではないか。子育て支援センターと図書館の連携を核とするのであれば、それをはっきりさせるべきだと思う。サードプレイスの説明に終始しているところがあるが、打ち出すのであれば、それをはっきり書いてほしい。「日本一子どもを大切にする図書館」くらい言い切ってほしい。全体の整理はこれでいいと思うが、シンプルに大胆にしてほしいと思っております。

○委員長　それでは、議事に記録させていただくご意見ということでよろしいでしょうか？　サードプレイスについては、最後に扱いが薄くなってしまっていたので、前回、私からも事務局に伝えて対応していただいているのは、そこは対応していただけると思っています。

○Ｅ委員　図書館と子育てについて、もう少しわかりやすくとの発言を、子育ての関係者としてうれしくお聞きしました。これまで図書館からは、毎月 38 冊、大型絵本と子育て関連本を持ってきてもらって、図書館コーナーを設けている。毎月内容が変わるので、親子でみんな喜んで読んでもらっています。先日、好きになった本が 1 ヶ月でなくなって、残念がる子どもがいましたが、そういう子には図書館に行ってみることをすすめています。いまから、そういったことを進めていくのが第一歩なのではないかと思っています。

○委員長　これから進めていくうえで大切なテーマかと思います。いまのご意見もしっかりと記録してもらいたいと思います。

　限られた時間になりますので、最終的には、私と事務局に一任いただいてもよろしいでしょうか？

○委員一同　（異議なし）

○委員長　それではこのような案で決定させていただきます。

いただいた委員のみなさまのご意見は議事録にしっかりと書き留めて、公開して進めさせていただきます。

【追加の発言がないことを確認】

・・

協議事項 その他について

○委員長　それでは事務局から（3）の策定委員会スケジュールについてお願いします。
○事務局　それでは資料４をご覧ください。
　本日、第７回委員会以降のスケジュールについてです。管理運営計画につきまして、本日ご意見をいただいた箇所を見直したのち、２月 22 日（金）から３月 23 日（土）までパブリックコメントを実施し、広く市民の皆様からのご意見をお聞きすることとしております。
　３月 26 日（火）午後３時から、第８回委員会を開催し、答申をいただく予定としております。
　今後のスケジュールについては以上です。
○委員長　ただ今のご意見に対してご意見やご質問はありますでしょうか？　よろしいでしょうか？
○委員一同　（同意）
○委員長　それでは今後、こちらのスケジュールにそって進めさせていただきます。
　以上ですべての議題について終了いたしましたが、パブリックコメント前となりますので、全般を通じてなにかあればと思いますが、いかがでしょうか？
○Ｄ副委員長　今後の開業に向けてですが、サードプレイスをどう実現するかですが、ボランティア活動についていくつか聞いてもらいたいことがあります。囲碁の話や将棋の話が新年会などでも聞くことがありあす。こういった活動は、子どもも大人も含む、多世代の交流にもつながるので、このセンターでできたらいいのではないのかと考えているのがひとつあります。また、定年した教育関係者がこのセンターで子どもに教えるというのもできるとよいのではないと思っています。血縁にとらわれない多世代の交流が行える場所にこのセンターがしたいと思っています。そういったサークルやコミュニティの事例を、今後どこかの資料に挙げていければ、ボランティアが参加しやすい環境ができるのではないかと思っています。
○Ｇ委員　交流センターのボランティアグループができればよいのでないか。センターをサードプレイス、居場所とするボランティアグループがあれば、そこでの活動が見えるので、自分も参加したいとの行動につながるのではないかと思いました。
○委員長　センターができてからのイメージにつながるかと思います。いただいたご意見はしっかりと書き留めさせていただきたいと思います。公開させていただき、次世代につなげていきたいと思います。

【追加の発言がないことを確認】

・・

閉会

○委員長　本来私は取りまとめ役ですが、最後ということもあり、また私自身の専門ということもあり、自分の思いも伝えさせていただきました。今後につなげていくには大切な時期だと思うので、委員のみなさまには今後もしっかり見届けてほしいと思います。

　これですべて終わりとなりますので、議長の役を降りさせていただきます。

委員のみなさまに本当にありがとうございました。

○事務局　おつかれさまでした。以上をもちまして閉会させていただきます。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

○委員長どうもありがとうございました。

閉　会　１６時３０分